



多職種で構成された  
心臓カテーテルチーム

毎月1回会議を開いて情報共有を行ったり連携強化を図ったりしています。



## 心臓カテーテルチームは、こんなチームです

チーム構成

医師、看護師(部長、副部長、各病棟看護師)、臨床工学技士、放射線技師、薬剤師、医事課職員で構成されています。

### 各職種のチーム内での役割

医師

リーダーとして、各職種に指示を出すなどチームを主導しています。

看護師

心臓カテーテル検査・治療の介助の他、医師をはじめとする他のメンバーと共に安心安楽な検査・治療となるように協働しています。会議で得た情報は病棟に持ち帰って病棟内のスタッフと共有。病棟内でも勉強会などを開いて知識を深めるように努めています。

臨床工学技士

心臓カテーテル検査・治療中に、心電図等の生体情報をモニタリング及び記録をしています。それに加え、心臓の血管の狭窄部位を超音波等を使い、測定しています。また、看護師やその他のメンバーを対象に検査装置の勉強会を開催しています。

放射線技師

心臓カテーテル検査・治療が円滑に行われるように、X線透視装置を適切に設定し、放射線による被曝線量をモニタリングしながらコントロールしています。それに加え、当院では検査・治療時に医師の助手として一緒に手技に立ち会っています。

薬剤師

検査・治療に使用する薬の管理・教育を行っています。また、心臓カテーテル検査・治療で入院された患者さんの持参薬を確認し、中止薬の状況を把握したり、検査・治療後の内服の指示に従って薬の調整を行い退院処方薬の服薬指導をすることが主な仕事です。

医事課職員

毎月開催される会議に出席し、診療報酬上の質問の回答や、心臓カテーテル検査・治療件数の実績などを報告しています。